

社会科学習指導案

指導者 広島市立〇〇小学校
教諭 〇〇 〇〇

- 1 日 時 平成28年6月〇日（〇）
- 2 学 年 第5学年〇組
- 3 単元名 「あたたかい土地の暮らし—沖縄県—」

4 単元の目標

沖縄県の人々の生活の様子から学習問題を見だし、あたたかい土地の人々の暮らしや産業の特色について地図や各種資料を活用して調べてまとめるとともに、自然条件と人々の暮らしや産業とのかかわりについて思考・判断したことを適切に表現している。

5 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	①沖縄県の気候条件に関心をもち、人々の生活や産業の様子について意欲的に調べている。 ②沖縄県の気候条件と人々の生活や産業のかかわりについて考えようとしている。
社会的な 思考・判断・表現	①国土の気候条件から見て特色のある地域の人々の生活や産業の様子について沖縄県を事例地として調べるための、学習問題や予想を考え表現している。 ②沖縄県の気候の特色と人々の生活や産業を相互に関連づけて、国土の気候が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを考え、適切に表現している。
観察・資料活用の 技能	①地図や各種の資料を活用して、気候条件から見て特色ある沖縄県の人々の生活や産業について必要な情報を集め、読み取っている。 ②沖縄県の気候条件を生活や産業に生かしている人々の工夫や努力について調べたことを新聞にまとめている。
社会的事象についての 知識・理解	①国土の気候条件から見て特色ある沖縄県の人々の生活や産業を理解している。 ②沖縄県の気候条件が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを理解している。

6 単元について

（教材観）

本単元は、第五学年の内容（1）イ 国土の地形や気候の概要、自然条件から見て特色のある地域の人々の生活 に基づいて、構成されている。これまで子供たちは、「国土の位置や広がり」「国土の気候の特色」「国土の地形の特色とそれを生かした人々の生活」について学習している。この単元では、あたたかい土地の人々の暮らしや産業の特色について、沖縄県を事例として挙げ、地図や各種資料を活用して調べてまとめるとともに、自然条件と人々の暮らしや産業とのかかわりを結びつけ、人々の工夫や努力について考えさせる。また、複数の事例から、気候と人々の暮らしとの相互関係に注目して考えさせることで、暖かい気候を生かしている沖縄と同じように、日本には、特色ある気候を生かした生活や産業があることに気付かせ、国土の特色の理解を深めさせていく。その中で、沖縄県はこんな特色があるという知識を並べて覚えるのではなく、地域は異なっても人々は共通に自然環境に適応したり自然環境を活用したりして、工夫しながら暮らしていることを学ばせていく必要がある。

（児童観）

本学級の児童は、本年度の本校の研究テーマでもある「かく活動」においても、作文を書いたり、思いや考えを作品に表現したりすることが好きな児童が多い。また、授業中、積極的に発言する児童が多く、活発な議論を展開する。しかしながら、手を挙げることに抵抗を感じる児童もおり、発表する児童が固定化しがちな傾

向も見られる。また、書くことは好きな児童が多い反面、ノートにまとめる内容はまだ課題のある児童が多い。社会科においても、資料をそのまま一文写して書く児童や、写真などの資料をどう言葉にすればよいか迷う児童など、調べ、考えた事柄を自らの言葉でわかりやすくまとめることに、苦手意識をもつ児童も少なくない。前単元「低い土地の暮らし～岐阜県海津市～」では、地形の特色に合わせて、海津市の人々が様々な工夫や努力を重ねてきたことは理解している。しかし、海津市に限定された事例としてのみ理解しているという児童も少なくない。

(指導観)

まず、調べ学習とまとめて書く活動に意欲を持って取り組むことができるよう、めあてを端的につかませたい。そのために、できる限り子供から出された言葉で、めあてを書いていく。その上で、自分の力で調べ、考え、ペア学習を通して伝える時間、全体で意見共有する時間をバランスよくとっていきたい。また、授業中に気になったことや疑問に思ったこと、友達の意見などは積極的にメモを取らせ、自分なりの分かりやすいノート(5の○豪華ノート)を作成するよう、授業のたびに伝える。メモを取る際はコンパクトにわかりやすくまとめるために、箇条書きで書く練習をしていく。お手本になるノートは積極的に全体の前で紹介し、モデルを示す中で、良いノートを真似させていきたい。また、めあてに呼応するまとめを自分の力で書くために、書き始めを統一したり、キーワードを指定したりして、教科の言葉を意識したまとめを書かせる指導に努める。また、早くまとめができた子供は感想を書くなど、「かく活動」の充実を図っていく。資料の活用に関しては、班の中でAとBの2グループにわかれ、自分もっていない情報を隣の友達もっている状況を意図的に生み出す。そうすることで、調べ学習への意欲や責任感、ペア学習での学びあう場の質を高めていく。また、調べ学習、交流がしやすくなるよう、予めTPCに資料を入れておき、児童が自分の使いたい資料の使いたい部分にペンで書き込むなどして、相手に説明する際に使用させる。また、その画面をIWBに映すことで、全体で共有しつつ、皆の前で説明する機会を設ける。

7 単元の指導と評価の計画 (全6時間 本時3/6時)

次	時	主な学習活動 主な使用機器	評価の観点 評価規準 (評価方法)
第一次 (つかむ)	第1時	○地形や気候の特色について振り返る。 IWB TPC ○沖縄県の様子について写真や気温と降水量のグラフなどの資料の読み取りから学習問題を導く。 ■那覇と広島グラフの読み取り, 比較	思① 国土の気候条件から見て特色のある地域の人々の生活や産業の様子について沖縄県を事例地として調べるための、学習問題や予想を考え表現している。 (ノート, 発表)
第二次 (調べる)	第1時	○沖縄県の人々は、どのように農業を行っているのか調べ、ノートにまとめる。 ■沖縄県の気温や湿度が高いという気候の特色に合う、さとうきびを栽培していること。 IWB TPC	技① 沖縄県の農業の様子について、写真や表などから調べ、必要な情報を集め、読み取っている。 (ノート, 発表) 関① 沖縄県の気候条件に関心を持ち、人々の生活や産業の様子について意欲的に調べている。(ノート, 発表, 観察)
	第2時 (本時)	○沖縄県の気候を生かした産業について調べ、工夫や努力をノートにまとめる。 ■冬でもあたたかい気候を生かし、小菊の抑制栽培をしていること。 ■一年を通してあたたかく、美しい自然を生かした観光産業が盛んであること。 IWB TPC	知① 一年間を通じて暖かい沖縄県の気候を生かした産業について調べ、特色ある気候を産業に生かす人々の工夫や努力を理解している。(ノート, 発表)

	第3時	<p>○沖縄県の人々の伝統的な文化や自然を保存・継承している人々について調べ、ノートにまとめる。</p> <p>■沖縄県は、昔から豊かな文化を育ててきており、自分たちが受け継いできた文化や自然を大切に、ついでに世代に引き継ぐ努力をしていること。</p> <p>IWB TPC</p>	<p>関②沖縄県の気候条件と人々の生活や産業のかかわりについて考えようとしている。</p> <p>(ノート, 発表)</p> <p>知②沖縄県の人々の豊かな文化と美しい自然を大切に、それらを守り、引き継ぐ努力について理解している。</p> <p>(ノート, 発表)</p>
第三次(まとめる)	第1時	<p>○学習問題についてミニ新聞にまとめ、話し合う。</p> <p>■くらしの様子、観光の様子、農業の様子、文化の様子の4つの観点で調べたことを整理する。</p> <p>IWB</p>	<p>知①国土の気候条件から見て特色ある沖縄県の人々の生活や産業を理解している。</p> <p>(ミニ新聞, 発表)</p> <p>技②沖縄県の気候条件を生活や産業に生かしている人々の工夫や努力について調べたことをミニ新聞にまとめている。</p> <p>(ミニ新聞)</p>
第四次(生かす)	第1時	<p>○暖かい土地のほかに、どのような特色のある気候やくらしがあるのか調べ、ノートにまとめる。</p> <p>■雪国のくらし、寒い土地のくらしも、それぞれの自然条件を生かした特色ある生活をしていること。</p> <p>IWB TPC</p>	<p>思②沖縄県の気候の特色と人々の生活や産業を相互に関連づけて、国土の気候が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを考え、適切に表現している。</p> <p>(ノート, 発表)</p>

8 本時の目標

特色ある沖縄県の気候を産業に生かす人々の工夫や努力を理解する。

9 本時の評価基準

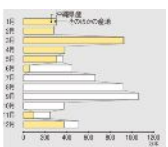
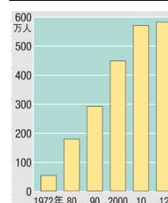
到達度	具体的評価基準	判断の目安
十分満足できる状況	○沖縄県の一年間を通じて暖かい沖縄県の気候を生かした産業について調べ、特色ある気候を産業に生かす人々の工夫や努力を関連づけて理解している。	○特色ある気候を産業に生かす人々の工夫を理解し、関連づけてノートにまとめている。
おおむね満足できる状況	○沖縄県の一年間を通じて暖かい沖縄県の気候を生かした産業について調べ、特色ある気候を産業に生かす人々の工夫や努力を理解している。	○特色ある気候を産業に生かす人々の工夫をノートにまとめている。
努力を要する状況の児童への手立ての例	○ポイントになるキーワード(例…抑制栽培, リゾート開発など)をあらかじめ伝え、その言葉を使ってまとめるよう助言する。	

10 本時の展開

学習活動・主要発問	予想される児童の反応	ICTの活用 (○) 指導上の留意点 (◎) 支援の必要な子どもへの手立て (●) 評価【観点】(評価方法)
<p>〈一斉学習〉</p> <p>1 これまでの学習を振り返る。 「沖縄の気候と産業について学習してきました。沖縄では、あたたかい気候を生かして、どんな産業がさかんでしたか。」 「そのほかにも、きくづくりや観光産業がさかんでした。これもあたたかい気候を生かしているのではないかとみなさんは予想しました。」</p> <p>「図は、小菊の出荷量です。1位は沖縄です。このことから、きくづくりにあたたかい気候を生かしていると言えますか。」</p> <p>「グラフは、観光客の数を示したグラフです。観光客は年々増加しています。このことから、観光産業にあたたかい気候を生かしていると言えますか。」</p> <p>「そうですね。きくづくりや観光産業がさかんなわけが、ほかにもあるのでしょうか。」</p> <p>〈個別学習→協働学習〉</p> <p>2 本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>沖縄では、なぜ「きくづくり」「観光産業」がさかんなのだろうか。</p> </div> <p>〈個別学習〉</p> <p>3 各自で調べ、ノートに書く。 班の中でAとBの2グループに分かれて調べる。</p> <p>A きくづくり B 観光産業</p>	<p>・さとうきびの栽培 ・パイナップルの栽培</p> <p>・寒い気候の福島が3位だということ、あたたかい気候を生かしているだけではないかもしれない。</p> <p>・沖縄はもともとあたたかいのだから、あたたかい気候だから観光客が増加しているということではない。</p> <p>A きくづくり ・あたたかい気候であるため、冬に花を咲かせる。 ・電灯で花の咲く時期を遅らせているから。 →抑制栽培 ・ほかの産地が出荷していない時期に多く出荷している。 ・県外で生産の減る冬の時期に出荷するのは、よい値段で売れるため。 ・台風対策もしているから。</p>	<p>ICTの活用 (○) 指導上の留意点 (◎) 支援の必要な子どもへの手立て (●) 評価【観点】(評価方法)</p> <p>○めあてにつなげるために、沖縄の小菊の出荷量(1位沖縄・2位奈良・3位福島)や、沖縄を訪れる観光客の数(年々増加)に関する資料を、IWBに効果的に提示する。</p> <p>◎調べ学習への意欲を持たせるために、AB2グループに分かれ、互いに自分もっていない情報を友達もっている状況を意図的に生み出す。そうすることで、調べ学習への意欲を高め、後の交流での学び合いを深める。</p> <p>○調べ学習、交流がしやすくなるよう、TPCに資料を入れておく。</p>

<p>〈協働学習〉</p> <p>4 調べたこと、考えたことを交流する。</p> <p>①A同士、B同士で交流 ②AとBで交流 ③全体交流</p> <p>「調べたことをもとに、きくづくり、観光産業がなぜさかんなのか、考えたことを発表しましょう。また、相手の説明を聞いて、自分が調べたことや考えたことと似ているな、同じだなと思ったことがあれば、付け加えて発表しましょう。」</p> <p>〈個別学習→協働学習〉</p> <p>5 本時のまとめを書く。</p> <p>「沖縄では、なぜ「きくづくり」「観光産業」がさかんなのだろうか。そのわけを自分の言葉でまとめましょう。」</p> <p>〈一斉学習〉</p> <p>6 次時の予告を聞く。</p>	<p>B 観光産業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬でもあたたかいので、プロ野球のキャンプが行われていて、人がたくさん集まるから。 ・美しい自然をみて、感動する人が多いから。 <p>→自然を守る努力をしている。</p> <p>B「沖縄県産の小菊は、なんで冬の時期に多く出荷されているのですか。」</p> <p>A「理由は…」</p> <p>A「なんで観光客は年々増加しているのですか。」</p> <p>B「理由は…」</p> <p>・沖縄県で、きくづくりや観光産業がさかんなわけは、沖縄の人々があたたかい気候や豊かな自然を生かす工夫や、さかんにするための努力をしていること。</p>	<p>◎交流したときに分かったことなどはノートに書いておくことを伝える。</p> <p>○TPCを見せるなどして、理由をはっきり説明できるように促す。</p> <p>【知】特色ある気候を産業に生かす人々の工夫を理解している。 (ノート、発表)</p> <p>●自分の調べたことを説明出来ない児童には、TPCのどの資料に注目したかを言わせ、その資料に対する質問をすることで、説明するきっかけをあたえる。</p> <p>○必要に応じて、児童のTPC画面をIWBに提示する。</p> <p>◎めあてに沿ったまとめを書くことができるように、必要に応じて「沖縄県で、きくづくりや観光産業がさかんなわけは、」というリードとなる言葉を予め提示しておく。</p>
---	--	---

1 1 板書計画

<p>めあて</p> <p>沖縄では、なぜ「きくづくり」や「観光産業」がさかんなのだろうか。</p>  <p>〈きくづくり〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あたたかい気候であるため、冬に花を咲かせる。 ・電灯で花の咲く時期を遅らせている。 →抑制栽培 ・県外で生産の減る冬の時期に出荷する 	<p>まとめ</p> <p>沖縄できくづくりや観光産業がさかんなわけは、沖縄の人々があたたかい気候や豊かな自然を生かす工夫や、さかんにするための努力をしていることです。</p>  <p>〈観光産業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬でもあたたかいので、プロ野球のキャンプが行われていて、観光客がたくさん集まる。 ・沖縄の美しい自然をみて、感動する人が多い。 <p>→自然を守る努力をしている。</p>
---	--

参考：都道府県別日本地理九州地方沖縄県，沖縄県ホームページ <http://www.pref.okinawa.jp/>